



谷 義樹

## 「能勢町版骨太の方針2011」について

**問** 任期最終年に向けての、町長の思いは？

**答** 行政が持続する限り、課題は無限にあるが、私が当初思っていたことについては、一応レールが敷けたと認識している。

**問** 今後の財政収支見通しは？

**答** 全協で10年スパンの収支見通しを示したが、非常に流動的で、厳しいと認識している。

**問** ダイオキシンの関係で、豊能町の高山で保管することになったドラム缶の、維持管理費等を含めた今後の見通しは？

**答** 当初、処理までする予定で、美化センターのテントの移動を考えた。しかし保管のみということで、安価に上げるため新たに倉庫を新設することになった。

**問** 能勢町の場合は備蓄倉庫での保管ということ、経費はそんなに高くないのか。今後は、保管経費が高く付くのでな

いか？

**答** ご指摘の趣旨は十分理解するが、高山地区との協定状況の詳細は、まだ分からない。

**問** 政策的課題の中で、唯一先の不透明なのが下水道処理計画で、年次計画の提示がないまま、推進するとなっている。能勢町全体を見た場合、一部で、生活排水が処理されないまま流されているという現実も抱えている。厳しい財政状況の中とは言え、具体的に目標年次を示せないか？

**答** 本町の下排水処理は、集合処理の方針をとっており、浄化槽については、あくまでも個人の状況でやっていただいている。その中で、例えば集合処理は一切しないと決断された地区については、浄化槽の補助も考えている。尚、何時までかかるかわからないものを本当に計画と言えるかという議論もあるが、町全体の財政

計画は、学校問題・火葬場建設等、財政支出のバランスの中で考えなければいけない問題なので、ご理解頂きたい。

**問** 「骨太の方針」は来年度予算編成の基礎資料なので、当然金目が中心になっている。しかしたとえばこの前の東日本の大震災、それからごく最近の台風の被害等、直接予算に関係しないが、町政にとって重要な課題も沢山ある。防災対策を例に、日頃の体制についてお聞きする。

**答** 防災、危機意識というのか、危機管理というのか、非常に重要な分野とされている。通年で言えば、消防、防災に係る予算を組んでいるが、有事のときに使うため、2億強の災害対策基金も積み立てている。なお防災計画そのものについては、現在見直しを実施している。

## 一般質問



中西 武

## 一、学校教育の内容 二、区長制度について 三、職員の士気高揚について

**問** 学校教育の内容

**答** 新しい学校建設にあたり、立派な校舎を作り、また通学の便をよくするために研究し、道路を安全のために改良する等、色々の意見が出されていますが、教育とは終わりは何なのか、小学校より高校、また大学を卒業して一般社会人になられたとき、一人前の人生を立派に送れるためにするのが目的と思う。現在の子どもたちは、両親とか年寄りとか地域の方に対する感謝の心、また礼儀が教えられていないのかと思いますが、お答えください。

肝要なことだと思います。新しい学校では、そういうものも含めて、大事にしていかねばなりません。色々の科目の中に将来を見据える子どもを育てていくような話を含めた指導が必要だと思います。

**問** 職員の士気高揚について

**答** 学校とは入れ物ではないと私も思っています。学校教育の中で、各科目においてよい点が取れるのも大事なことです。社会人として立派に生きていって、社会のために貢献すると思えます。大きな課題があると思えます。そういう意味では、たくましい子どもたちを育てていくことが何より

**問** 区長制度について

**答** 平素の生活において、各区より町へ色々の要望が出ています。例えば、道路とか水道の復旧、または交通安全対策のカーブミラー等の施設等々ですが、これ等については、地区の区長を通じて、要望書等で町へ提出されて取り上げていくのが普通だと思っています。これが区長制度と聞いています。どうですか。

**問** 道路、町道等の工事関係につきましては、区長よりの要望によって対応させていただいている。この考え方は、基本的に変わりません。現在もそのように原則対応しております。

**問** 能勢町は現在、下排水事業、火葬場、また学校建設等々大きなプロジェクトを抱えておりますが、その他の住民による町おこしの事が少なく、一部を除いて町民が無関心になっておられるように思われます。町職員さんも通常の業務をこなすだけで、新たな試みに取り組むとか、自分の持ち場以外でもこんな事例はどうかとか、こんなアドバイスの事を発信して欲しいと思えます。どう思われますか。

**答** ご指摘をいただいています。ところについては、より広い目を持って町政のことを考えるような指導はしてまいりたいと思っております。係長になるまでの者で、一定の経験を積んだ者で、係長相当の仕事ができるかと判断した場合は、主任に昇格させる制度をつくりました。これは、職員の士気高揚を図るという観点からの制度です。